



〈新刊紹介〉商學士國松豐著 「貸借對照表論」

原口，亮平

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 27(5):797-800

(Issue Date)

1919-11

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00053121>



新刊紹介

商學士 國松豐著

貸借對照表論

紙數菊版四二九頁
定價參圓貳拾錢
東京實文館發行

(一)本書ハ小樽高等商業學校教授國松豐氏ガ私經濟學研究第一卷トシテ公ニセルモノニシテ、著者ノ深遠ナル學識、犀利ナル判斷ヲ緯トシ、外遊中蒐集シタル豐富ナル材料ヲ經トシ、貸借對照表ヲ背景トシテ、會計學ヲ論ジタル大作ナリ。其ノ内容ノ充實セル、議論ノ穩健ナル、引照ノ該博ナル稀ニ見ル所ニシテ、特ニ獨逸學說ヲ紹介シタルハ、其ノ缺乏ヲ感ズルコト深キ學界ニ貢獻スル所偉大ナリトセザルベカラズ、今之ヲ世間ニ紹介スルニ、唯「必讀スベキ名著」ナリトイフノ外、適當ナル語詞ヲ知ラザル也。唯左ニ蛇足ヲ附スル所以ハ、著者ニ敬意ヲ表シ、併セテ其ノ教ヲ請ハントスルニ外ナラズ。

(二)本書ハ貸借對照表ノ意義、目的ニ筆ヲ起シ、

公表、構造ニ及ボシ、其ノ性質ニ於テ眞實性、繼續性及ビ單一性ノ存在スルコトヲ闡明シ、以テ貸借對照表ノ總論ヲ結ビ、内容論トシテ借方科目ニ付キテハ、評價論梗概、帳簿價額、流動資産、固定資産、資産補足科目、貸方科目ニ付キテハ、其ノ概念及分類法、對外負債、對內負債、純益金及其ノ分配、及ビ負債補足科目ニ分說シ、内ニ繰越科目、見越科目、評價科目、純相殺科目ノ新說ヲ說ク。最後ニ論ゼル決算報告ノ批判ハ本書ノ骨子、且結論ニシテ、之ヲ批判ノ目的及制限、貸借對照表ノ科目ノ相互關係、損益計算書ノ繼續的觀察、利廻リト企業收益力、基本單位ニ據ル批判ニ分項細說セリ。

(三)本書ニ於テハ「貸借對照表トハ一會計單位ガ一定ノ時期ニ於テ調達シタル金額ヲ調達ノ方法ニ從テ貸方ニ示シ、他方ニ此ノ金額ガ運用サレ居ル方法又ハ種類ヲ借方トシ兩者ヲ對比シテ財産ノ狀態ヲ示セル表ナリ」ト定義シ、彼ノ複

會計式貸借對照表ノ資本的收支計算ニ用フル方法ヲ一般ノ貸借對照表ニ準用シ、以テ其ノ議論ノ立脚點ヲ定ム。凡ソ同表ノ性質、就中其ノ繼續性、財産ノ評價法等ハ之ニ因リテ解説シ得ベキ點多シト雖モ貸借對照表ノ表示ニハ、斯ル過去ニ於ケル財政上ノ事實ニ關スルモノアルト共ニ、亦將來ノ事故ニ係ルモノアルコトハ疑フベカラズ。負債ノ金額ハ其ノ借入レタル金額ヨリハ、寧ロ其ノ辨濟スベキ金額ヲ標準トスベク、又無償ニテ得タル金額ハ之ヲ同表ニ表示セザルモノアル如キハ其ノ例トナスベシ。後文論理ノ貫徹セザル點ノ存ズル觀アルノ所以茲ニ存ズルモノニアラザルカ。

(四) 財産ノ評價ニ關シテハ、著者ハ時價、原價ノ内何レカ低廉ナル方ニ依ルベシトノ議論ヲ採用ス。而シテ嚴格ナル意味ニ於テ時價ノ存在セザルモノニ於テハ、商法第二六條ノ規定ニ拘ラズ、評價ノ原則ヲ他ニ求メザルベカラズトシ、

隨ツテ固定財産ニ關シテハ、其ノ取得價格ヲ基礎トシ、減價償却法ニヨリテ一定ノ償却ヲナシタルモノトシ、流動財産中有價證券ニ就イテハ取得價格以下ナル時價ニヨリ評價シ、商品ニ就イテハ取引所價格又ハ市場價格ノ存ズルモノハ、有價證券ニ準ジテ評價シ、否ラザルモノニ對シテハ取得價格ヲ用フベキモノトシ、評價上ノ利益ハ豫想ノ利益ナリトシテ、之ヲ計上スルコトヲ排斥ス。然レドモ此ノ如キ評價法ハ會社ノ資本維持ノ主義ニ違反スルコトナキヤ、例ヘバ海漕業ニ於テ其ノ船舶價格ノ急激ナル下落ハ之ヲ表示スルコトヲ要セザルカ。資本ノ缺損ヲ補充スルコトナクシテ、利益ノ配當ヲナスコトヲ得ル英米ノ慣例ハ直チニ之ヲ我が邦ニ適用スルコトヲ得ベキカ。又流動資産ニ關シテハ、單純ナル時ノ經過ニヨリテ價格ヲ増スモノアリ。而シテ是等モ尙取得價格以上ノ價額ヲ附スルヲ得ズトスルハ、財政ノ狀況ヲ審ニスルモノトイ

ヒ難シ。

凡ソ貸借對照表上ノ金額ヲ定ムルニ當リテ、財政實現主義ニ由ルベキヤ、或ハ財政鞏固主義ニ由ルベキヤ、又此ノ二主義ハ如何ニ折衷セラレモノナリヤ等ハ斯學研究者ノ常ニ考フ所ナリ。而シテ余輩ハ著者ニ此ノ點ヲ一層明示セラレンコトヲ希望スルモノナリ。

(五)著者ハ積立金ヲ缺損填補積立金、支出準備積立金ニ二分シ、後者ヲ資本的支出準備積立金、收益的支出積立金ニ細分シタルハ一種ノ新式分類法ト稱スベシ。然レドモ其ノ資本的支出準備積立金ハ單ニ其ノ科目ヲ貸方ニ置クコトニヨリテ其ノ金額ニ相當スル資産ヲ借方ニ蓄積スル用ヲ爲スニ過ギズトナシ、其ノ目的タル蓄積ヲナシタル後ハ、他ノ積立金ニ振替ヘ、若シクハ一般利益金ニ繰戻シ、配當ニ充ツルコトヲ得ベシト論ズルハ斯種積立金ノ性質ニ適合スルモノナルカ。凡ソ是等ノ準備金ヲ積立ツル經營上ノ

目的ハ、其ノ目的タル事業ヲ遂行スルニ要スル一時ノ支拂ニアラズシテ、其ノ事業遂行後ニ於ケル資金ノ減少ニ在リ。即チ積立金ノ効用ハ事業遂行後ニ發揮スルモノトス。之ヲ配當シ得ベシトスル如キハ其ノ積立ノ目的ト相距ル甚ダ遠キヲ覺ユ。

(六)決算報告書ノ批判ニ就イテハ著者ノ努力著シク著ハル。之ヲ縱橫無盡ニ解析シテ餘ス所ナキハ余輩ノ感歎措ク能ハザル所ナリ。但シ此ノ種ノ批判ハ頗ル困難ナルモノニシテ、殊ニ之ヲ大體上ヨリ論ジ、其ノ原則ヲ定ムルコトハ實行シ得ベキモノナリヤ、否ヤヲ疑ナキ能ハズ。由ツテ納ル見地ニ立チテ下シタル批判ハ之ヲ實際ニ適用スルトキハ、動モスレバ極メテ皮相的又ハ平凡のトナリ或ハ特種ノ場合ニ適合セザルハ已ムヲ得ザルガ如シ。今本書ニ於テ之ヲ觀ルニ、貸借對照表ニ於テ其ノ貸方ナルイ對内負債ト、(ロ)對外負債トノ關係ニ於テ、後者ヲシテ前者ヨ

リ大ナラシメザルヲ經營第一ノ要義ナリトスルモ、斯ル限界ハ何ヲ以テ之ヲ定メタルカ、著者ノ論ズル如ク、前者ガ後者ニ比シテヨリ大ナルトキハ事業ノ財政ハ、ヨリ確實ナルコト疑フベクモアラズ、一々數字ヲ以テ其ノ例ヲ示スマデモナカルベシ。然レドモ是等ハ業務ノ種類、營業ノ方法ニヨリテ異ナルモノニシテ、例ヘバ銀行業ノ如キ對外負債ノ大ナルヲ良シトスルモノアリ。鐵道業ノ如キ其ノ少額ナルモノオモ厭フモノアリ。更ニ社債ニ關スル商法第二〇〇條ノ規定ハ斯ル經營上ノ問題ヨリハ寧ロ社債權者ヲ保護スルモノナリト解スルヲ正當ナリト信ズ。又借方ニ於テイ固定資産トロ流動財産トノ割合ヲ定メ、更ニ貸借兩側ニ互リテ其ノ相互ノ金額ヲ比較スル場合ニ於テモ亦同ジ。凡ツ決算書類ヲ批判スルニハ、其ノ作成ト同一ノ見地ニ立チ論斷スルヲ要ス。仍ツテ事業繼續ヲ前提トセル普通決算書類ハ債權者ヨリ觀察シ、或ハ事業盛

跌ノ場合ヲ假想シテ、會社ノ財政ノ健否ヲ判斷スルハ半面的觀察タルニ過ギズ、余輩ハ著者ガ研究セル經營論ヲ公ニシテ、此等ノ諸點ヲ明ラカニセラレンコトヲ希望シテ已マザルナリ。

(七)讀過シ去リテ考フルニ、株式會社ヲシテ貸借對照表ヲ公示セシムル方今ノ制度ハ其ノ事業ノ經營上利益ヲ與フルモノアリト雖モ、同時ニ之ニ損害ヲ與フルコトヲ免レズ。公示ニヨリテ利益ヲ受クルモノハ其ノ内容ヲ明示セシムベキモ、損失ヲ生ズルモノニアリテハ或程度マデ秘密ノ存在ヲ容認セザルベカラズ。今ヤ激烈ナル他人ノ競爭アリ、負擔輕カラザル租税ノ賦課アリ。是等ガ決算書類ニ及ボス影響少シトセズ、望蜀ノ嫌アリト雖モ會計實務ニ當ル者ノ爲ニ是等ニ關スル指針ヲ與ヘラル、コト本書ノ價值ヲシテ益々大ナラシムナリト信ズ。妄言多謝多謝。(原口亮平)